

情報知識論

Information and Knowledge Theory

| | | | | | | | |
|-------------------------|--|-----|-----|--------|-----|-------------|--|
| 1 学期 | | 月曜日 | | 7・8 時限 | | 講義室：東京サテライト | |
| 担 当 教 員 | 横 山 幹 子 | 研究室 | 405 | オフィス | 木曜日 | 5 時限 | |
| 科 目 の 概 要 | <p>知識の古典的な定義等をふまえたうえで、知識の共有という視点から、相対主義について講義をします。その際、どのような考えが相対主義と呼ばれ、それに対してどのような批判があるのかについて明らかにします。講義の中心となるのは、一般に概念相対主義と言われるクワインの考えを見ることです。具体的には、彼の晩年の著作で、彼自身が自分のそれまでの考えをまとめているとしている『真理の探究』を中心に、『ことばと対象』等の彼の代表的な著作も参考にしながら、クワインの考えを見ていきます。その後、古典的なやり方で相対主義の相対主義批判がどのようなものか確認したうえで、クワインの考えを念頭に置いて相対主義を批判しているデイヴィドソンの相対主義批判を見ることによって、相対主義についてより深く論じます。</p> | | | | | | |
| 授 業 予 定 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識の古典的な定義と情報理論を使った知識の定義 2. 相対主義とはどのような考えか 3. クワイン：論理実証主義批判 4. クワイン：全体論（ホーリズム） 5. クワイン：翻訳の不確定性 6. クワイン：指示の不可測性 7. クワイン：理論の決定不全性 8. デイヴィドソンの相対主義批判 9. 10. まとめ | | | | | | |
| 達 成 目 標 | <p>この授業の単位を取得するためには、どのような考えが相対主義と呼ばれるかを理解すること、および、代表的な相対主義批判としてどのようなものがあるかを理解することが必要です。そのうえで、自分なりに相対主義について考え、その問題に対して自分自身の結論を出そうとすることを希望します。</p> | | | | | | |
| 評 価 の 方 法 | 出席とレポートを評価の対象とする | | | | | | |
| 教 科 書 又 は 参 考 書 | 「真理を追って」W・V・クワイン著、産業図書 | | | | | | |
| テ レ ビ 会 議 シ ス テ ム の 利 用 | 無 | | | | | | |
| そ の 他 | | | | | | | |